

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県業務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第40週の発生動向

□ 全数報告の感染症（40 週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例。4 類感染症：報告なし。
 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 3 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		延岡	80歳代	男	結核性胸膜炎	胸水
		中央	90歳代	女	粟粒結核	発熱、食思不振
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	20歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、O157(VT2)
			20歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、 O157(VT1,VT2)
			30歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O157(VT2)
5類	アメーバ赤痢	高鍋	50歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	0～4歳	女	—	発熱、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	百日咳	高鍋	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			60歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1018 人(定点当たり 28.6)で、前週比 124%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

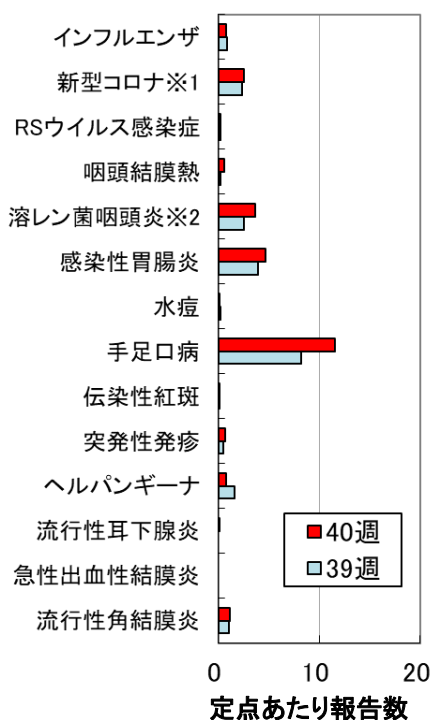
報告数は 149 人(2.6)で、前週比 108%と増加した。高千穂(11.5)、延岡(6.0)、都城(2.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 132 人(3.7)で、前週比 143%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 2.4 倍であった。宮崎市(6.5)、延岡(4.8)、日南(4.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

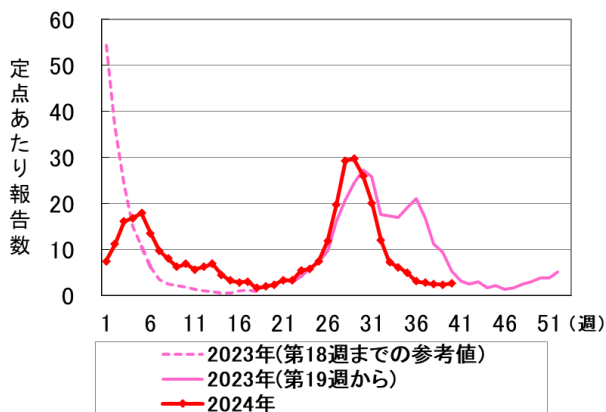
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【手足口病】

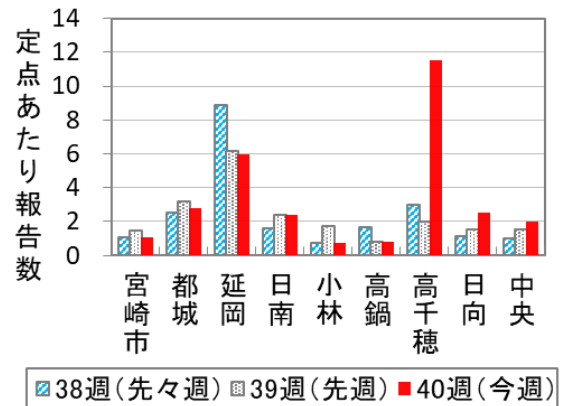
報告数は416人(11.6)で、前週比141%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.5)の約4.7倍であった。宮崎市(19.3)、中央(18.0)、日南(13.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

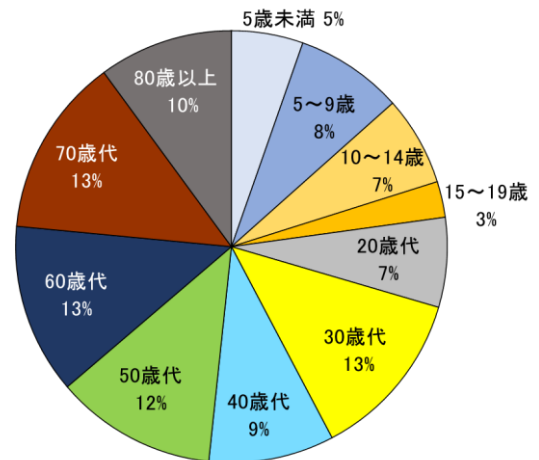


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

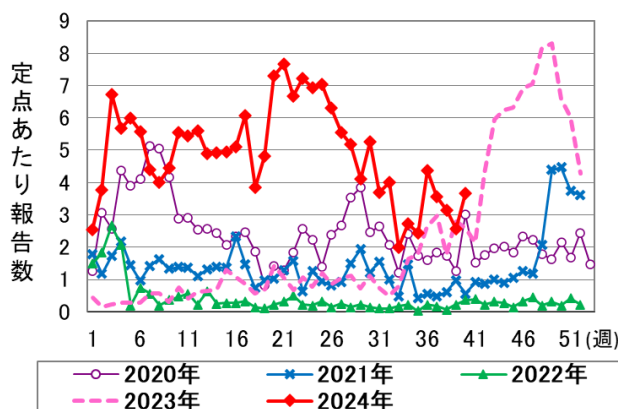


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

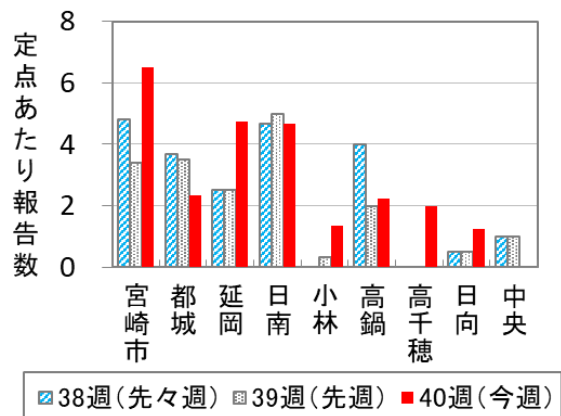
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第40週)



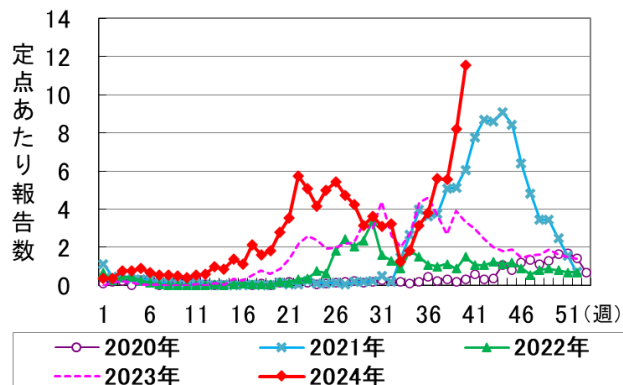
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



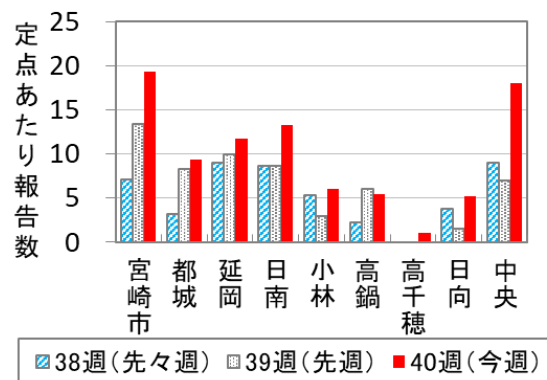
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋(5例)、日向(3例)、宮崎市(2例)、延岡(2例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が8例、10～14歳が2例、0～4歳が1例、15～19歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(19.3)
都城	手足口病(9.3)
延岡	手足口病(11.8)
日南	手足口病(13.3)
小林	手足口病(6.0)
高鍋	手足口病(5.5)
高千穂	なし
日向	手足口病(5.3)
中央	手足口病(18.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

・手足口病(5)

全国 2024 年第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	201 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	116 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	2 例	エキノкокクス症	1 例
	ジカウイルス感染症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	8 例
	日本紅斑熱	18 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	36 例
	レプトスピラ症	6 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	35 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	195 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	百日咳	93 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 97%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、手足口病、マイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は17,674人(3.6)で前週比82%と減少した。宮城県(6.0)、岩手県(5.8)、茨城県(5.7)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。

手足口病の報告数は25,493人(8.1)で前週比105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約6倍であった。愛媛県(23.2)、富山県(21.4)、宮城県(19.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から5歳が全体の約7割を占めた。

＊過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	50	46	4	1	13	19	4	2	2	1	
	定点当り	0.86	0.79	0.25	0.10	1.86	3.80	1.00	0.33	1.00	0.17	0.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	138	149	17	28	42	12	3	5	23	15	4
	定点当り	2.38	2.57	1.06	2.80	6.00	2.40	0.75	0.83	11.50	2.50	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	7	6	1	5							
	定点当り	0.19	0.17	0.10	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	21	6	2	1	3	1	1		7	
	定点当り	0.19	0.58	0.60	0.33	0.25	1.00	0.33	0.25	0.00	1.75	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	92	132	65	14	19	14	4	9	2	5	
	定点当り	2.56	3.67	6.50	2.33	4.75	4.67	1.33	2.25	2.00	1.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	141	167	61	27	1	27	15	10	1	22	3
	定点当り	3.92	4.64	6.10	4.50	0.25	9.00	5.00	2.50	1.00	5.50	3.00
水 痘	報告数	7	4	1		1			2			
	定点当り	0.19	0.11	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	296	416	193	56	47	40	18	22	1	21	18
	定点当り	8.22	11.56	19.30	9.33	11.75	13.33	6.00	5.50	1.00	5.25	18.00
伝染性紅斑	報告数	4	5			5						
	定点当り	0.11	0.14	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	24	5	6	5	4		2		2	
	定点当り	0.44	0.67	0.50	1.00	1.25	1.33	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	58	28	11	1	8	1		6	1		
	定点当り	1.61	0.78	1.10	0.17	2.00	0.33	0.00	1.50	1.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	7	5	1	1						
	定点当り	1.00	1.17	1.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	9	12	2		2			5		3	
	定点当り	1.29	1.71	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	5.00		3.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～40週 保健所受理分)

2類感染症	結核	88例(3)	
	腸管出血性大腸菌感染症	34例(3)	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎 1例 重症熱性血小板減少症候群 7例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱 9例 レジオネラ症 10例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例(1)	ウイルス性肝炎 2例 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13例 後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症 14例(1) 水痘(入院例) 5例
	梅毒	121例(3)	播種性クリプトコックス症 3例 破傷風 2例
	百日咳	43例(2)	

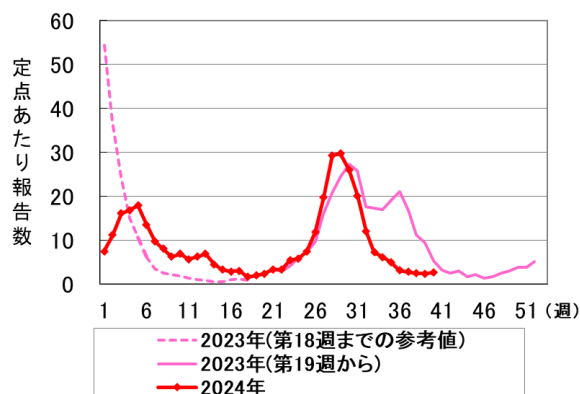
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 40 週、全国第 39 週（再掲）》

□ 県内第 40 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

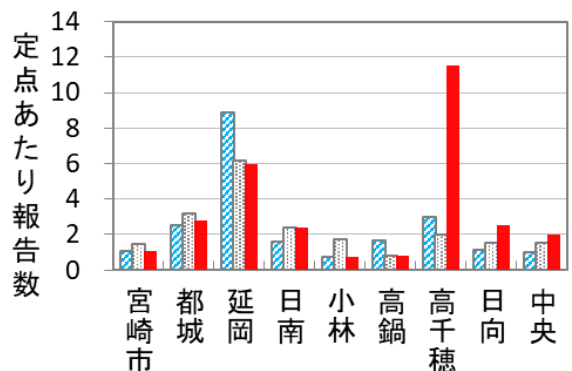
9 月 30 日～10 月 6 日までの 1 週間で 149 人(2.6)の報告があり、前週比 108%と増加した。高千穂(11.5)、延岡(6.0)、都城(2.8)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

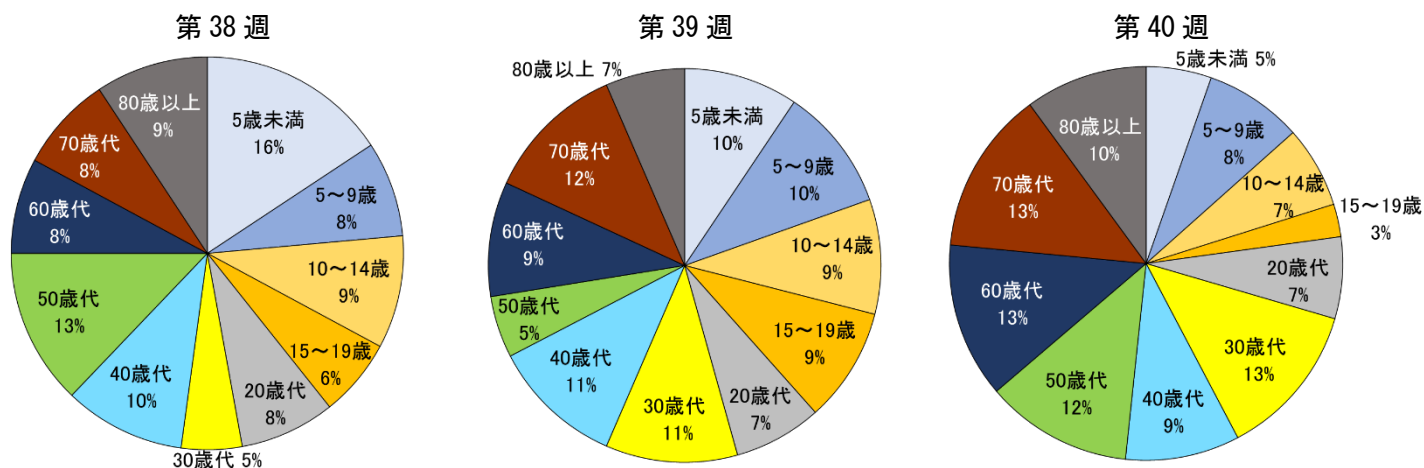


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

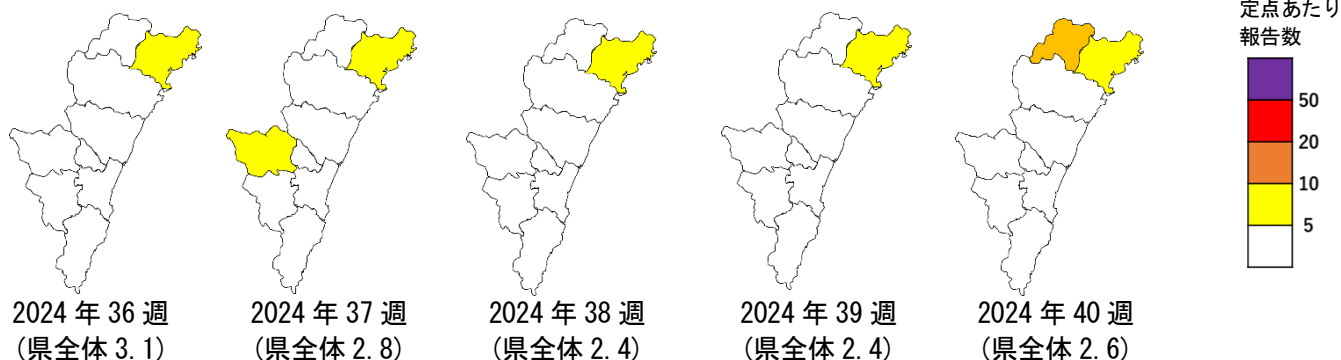
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 36 週～2024 年第 40 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 39 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

9 月 23 日～9 月 29 日までの 1 週間で 17,674 人(3.6)の報告があり、前週比 82%と減少した。宮城県(6.0)、岩手県(5.8)、茨城県(5.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。